

います。

ID241 女性が”フル”に責任のある仕事につくには、今の社会は大変厳しいものがあります。ファミサポの制度があるので、私も仕事ができますが、ある程度自身の仕事に給与がないと毎週、毎週は頼むのはむずかしいのではないのでしょうか。とくに、保育園の保育料もありますし、月、合算すると5万以上は週数回でも料金がかかってくるので…。

ID244 数年前まで幅広く、サポート事業があまり展開されておらず、両親が遠方にいる都合上、子どもを預けるところがありませんでした。地方ともなると、近所の人、または、友達に預けたり預かったり、と言う風にできることがならず、かなり悩みました。けれども近所の人ではなく、全く知らない他人の家へ子どもたちが行くことにより、ある程度の緊張感（良い意味、悪い意味両方含め）が互いにあり、夫婦共々得ることもありました。ただ、支払金額ですが、1時間分の預かり料がパート・アルバイト料金に値していて、割に合わないと思います。“サポート”というのであれば、高額収入がある方は“おつり”がでると思いますが、低収入の方はおつりが出ません。なので1時間の預かり料金が二人目～半額ではなく、一人目から現料金の半額程度にしてもらわないとサポートとはいえないのではないのでしょうか？ご検討お願いします。

ID249 センターでは、近所に住む提供会員を紹介してくるが、あまり近すぎるとよくないと思う（お互い見せたくない部分も見えてしまうし、ことわりづらい等）。センターでは、同じ方を何度も紹介してくるが、実際にはもっといろんな方(提供会員)を知

って、選びたいと思っている。たらいまわしでは困るが選択の余地も欲しい。

ID255 祖母の入院により急に利用させていただくことになったが対応が早く提供会員とも事前打ち合わせをスムーズにすることができた。報告の書類など継続的なものに対してその都度というのはどうだろうか？もっと簡素化できないものか？

ID257 第2子出産の際に上の子どものサポートをお願いしました。数人の人を紹介して預けることになりましたが、安心して預けられる人もいれば、不安を抱きながら預けた人もいました。不安を抱いた理由として、食事(生ものを与えられてしまった。食事を与えないでくれと頼んだにもかかわらずあたえられた)や、原則一対一での預かりと聞いていたのが数人預かっており、風邪など病気をうつされてしまったことがありました。預かって下さる方に意見をしていくことも難しいしサポートセンターの方へも言いづらい面があります。ファミリーサポートのあり方を一貫してもらいたい。

ID267 託児所の利用料金より、ファミリーサポートセンターの料金のほうが高いので、もう少しやすくしてほしい。

ID280 地域 NPO だった時代から利用しています。とても助かっています。フルタイムで働いていなかったころは格安の料金がありがたかったのですが、フルで働いて収入が多くなると格安の料金で働いていることが逆に申し訳なく思え、(預けている間、提供会員さん以上のお金を稼いでしまっている)仕事、時間に余裕があっても保育をお願いして提供会員さんの収入を確保というときもあります。趣旨が違ってしまいうでしょうけど

ID281 地域格差あり。わが町には本システムがあり、子どもの送迎を依頼するも、引き受け手がないため実績なし。幼稚園の「預かり」や「学童保育」は18:00までであり、迎え時間にとっても間に合わないためタクシーと民間の3次保育サービスを使用している。必要とする人がフレキシブルに利用できるシステムの確立を。

ID287 近くて料金が安いので利用しているが、やはり保育所の方が安心だと思う。うんちをしているのにおむつを替えてもらえなかったこともあり、その場合も提供会員直接言いにくい。ファミリーサポートセンターの方で決まりを作っても、それを守るかどうかは会員に委ねられているので、なかなか難しいと思う。またこのような意見を言う場も窓口もない。

ID288 近くに、安価で安心して子どもを預けられるので助かっています。100%預けられるわけではないのがつらいところですが満足している。

ID289 近くに妹が住んでいますが、フルタイムで仕事をしているので、あてにできず、ちょうど1年前から母子家庭になりファミサポなしでは生活が成り立たなかったと思います。この制度に感謝しています。しかし、経済的にゆとりのない友人(母子家庭)は利用できずに困っている方がたくさんいます。そこらへんを行政でどうにかして頂きたい。

ID297 近くにどちらの実家もない私たち家族にとって、本当にありがたいです。今、職業復帰を目指して「充電期間」の私にとって、行きたい講座にいける「自由」がなければ、「育児」や「将来のビジョンを描く」ことがつらいと感じたと思います。たまた

ま良い方と巡り会い、親の手がかかりにくい真ん中の子どもの成長を(1歳半~3歳)我が子のように喜んでくださるので、一人で育児しているのではないと励みになります。第二子は1歳半から私の通院児に預かっていただいたので、「親以外に信頼して過ごす人」として、提供会員さんがいてくださったので、人見知りが少なくなりました。第三子も今、なじんでいる所で本当に助かります。病児対応もあることをさらに今後、希望したいです。

ID298 近くに身内がまったくいないので、不定期の仕事が入った時、上の子を病院に連れて行かなければならない時など、本当にお世話になりありがたかった。私の場合は提供会員にとっても恵まれていたので何不自由なくお世話になることができたが、パートナーとなる提供会員を決めるに当たって当方と面接した際、自分の家庭と合わないと感じたとしても狭い田舎では顔を合わせた以上、断りづらいという問題もあるのではないかと思った。

ID302 近くに子どもを預かってくれる人がいない人にとって、この制度はとてありがたく思います。ただ、利用料をもう少し安くしていただくと気軽に預けられます。

ID304 中学生である娘は、障害を持っている為、自宅からスクールバスまでの送迎や、自宅から一時預かりの施設への送迎などをお願いしていた。私の仕事の出勤時間が不定の為、それにあわせ自宅に迎えに来てもらい助かった。

ID309 常に使用したい時に使用できるサポートであってほしい。

ID313 提供会員さんがとてもいい方なの

で、加入して本当に良かったと感じている。長男は子とあるごとに（提供会員宅に）「遊びにいきたい」と言ってるくらい。ただ講習会を受けて、面談をしてと、サービスを受けるまでの手続きがやや煩雑なので、もう少し使い勝手をよくしてほしい。

ID319 提供会員さんとはとてもいい方でおつきあいをさせていただいていますが、「病気の子どもをあずけるのは絶対ダメ」とセンターに釘をさされたことがあります。ファミリーサポートは、本気で働くママのことを考えているのか??とがっかりしました。働くママが仕事を続けられなくなるのは、37.5度でかかってくる保育所からの電話で。何かあったら・・・の政治的考えはわかりますが、だとしたらそこを何とかする方法を考えなくては何も変わらないと思います。長年ファミリーサポートに助けていただいています。そこに限界を感じざるをえません。

ID322 提供会員に直接交渉して良いところが便利。県の「緊急サポート」は直接交渉できない。メール連絡で保険の手続きをしてもらえるのが便利。できれば夜の時間、土日祝日もメール連絡で保険の手続きをしてもらえるといい。

ID323 提供会員になられた方はわざわざ研修などを受けて、よほど余裕があり、人格的にすばらしい方々が多いだろうと尊敬しています。近くに友達や頼る人がいないので、困った時は本当にありがたかったです。ただ少し料金が高いのと、おばあちゃんが近くにいればどんなに気持ち的にも、頼むのも楽だろうと、かえって悲しくなっていました。

ID330 提供会員のかたに子どもがなつくと安心して私も頼り、とても助けて頂いて

感謝しています。ただ、預け先がなく、一日お願いすると（仕事の間ずっと）自分の給与以上になるため、もう少し安いと助かると思います。提供会員の方には今くらいの金額は必要と思います。何かしらの補助があり、親の負担がもう少し減ってくれると助かります。

ID331 提供会員の方はみな良心的なので大変感謝しております。ただ、絶対数が少ないため、近所で探すことができないのは少々不便で困っております。出張もあるため、宿泊もお願いできると嬉しいです。

ID335 土、日、祝や緊急時の対応もしてほしい。

ID336 土・日や担当が休みの時などに対応ができない時があるので、困ったことがあった。（「担当が休みなので明日また電話ください」と言われ、次の日電話したら「今日はお休みです」と言われ不便を感じた）

ID337 同居の祖父母がいても仕事をしているため、いざという時とても助かります。できるだけ、同じ方に来ていただけるとありがたいです（私も子どもも慣れるので）「私はこうだった」という話は参考になります。サポーターさんなしでは今の生活の質は維持できないと思います。費用を今の600円/Hから400円/Hぐらいにしてほしいと思っています。

ID343 時々、子どものお迎えを頼みます。二人いるので1回2000円～2500円。毎日になると無理かな。1ヶ月単位で安くなればいいと思います。急をお願いしても無理なことがあり、なかなか利用できない。

ID345 時には病気や精神面で疲れがたまり、もっと利用すればよかったと思うが、あまり面識のない人に預けるのは気が引け

てしまった。たとえば保育所のような場所で、そこへいけばいつでも預かってくれるような場所があればなあと思う（保育所も急に預かってもらえないことが多い）

ID347 とってもよい制度だと思います。我が家にとっては週1回がとても大切な時間となっています。子どもには週1回よその家庭で過ごす社会勉強の場であり親（私）自身仕事やリフレッシュになる大切な日です。病児保育的なケアがあればもっと安心できるのですが・・

ID348 とってもありがたい事業だと思います。将来私も誰かのためになるなら提供会員として参加したい。と考えているが（まだまだ先の話ですが）、人様の子どもをあずかれるような人間性を備えているかは不安です。病院・会社などいろんなところにサービス内容を紹介するポスター等を貼っては？まだまだ知らない人がたくさんいます。

ID356 とっても親切な方ばかりで助かっています。また、励まされることが多く、私自身、元気で頑張らなければと思うことがある。以前住んでいた所では、会員制ではあったが、今よりも会員が少ないようで利用してなかった。

ID369 とっても助かる仕組みだと思うが、段取るまでの手続きが少し面倒。わが市にも小学校に1つ学童を早くつくってしまおう！

ID370 とっても助かるシステムだが知名度が低い。利用者が増えれば料金も下がるのでしょうか。市内に2カ所あるほうが良いと思う。（市の地形上）

ID373 とっても良い事業だと思っています。ファミリーサポートセンターを運営される方たちに、もっと資金の援助をしてほしい

と感じました。ボランティアという聞こえは良いですが、とても献身的にいただけるので、もう少し時給をあげても良いのではないかと感じます。利用する側としては、確かに安いかもしれませんが、国などが助成金を出しても少し値下げをしたらよいと考えます。

ID379 どの辺の地域にどれくらいの協力会員の方がいるのか、（利用会員、提供会員）人数や分布を知りたいです。

ID380 どのような制度なのか、周知徹底されていないと思う。お金のやりとりや申し込みなど、事務が簡素化されると良いと思う。

ID384 どれだけ提供会員さんと個人的な付き合いをしているのか分からない。病児は今の制度では看てもらえないので、病気の時こそ看てもらえるようにしてほしい。

ID388 なくてはならない存在です。体調を崩していても見てくれるともっと助かります。

ID392 日時が決まっている時は気軽に事前に連絡できるが、急用の場合は「ボランティア」というのがあるので悪い気がして頼みづらい。有償であってもやはり、援助会員の「善意」があってこそだと思うので…。もっともっと依頼会員が割り切れる方法はないのでしょうか？

ID401 働く母親にとってはとてもありがたいシステムだと思います。ただ本当に急にサポートが必要な時に子どもをスムーズに受け入れることが出来ればもっと良いかと思っています。

ID403 非常にありがたい存在ですが、やはりあくまでも他人の家族なので、とても気を遣います。そうゆう意味では、もっと

協力会員の方と接する機会が増えればいい
なと思います。

ID407 費用がもっと安ければ、もっと多
くの人が利用すると思う。協力会員への報
酬はそのままで

ID408 病気や急用の時は、友人や近所
の方をお願いできるが、仕事でとなると願
いにくい。不定期で短時間の時は助かる。
1時間 600円(休日 700円)だが最初の1
時間 600円その後は1時間 400円ぐらいに
なるともっと利用しやすいです。

ID411 ファミサポ会員ですが利用した
ことはありません。利用してないので、提供
会員とも交流もなく、本当に必要になった
時気軽に利用できるか不安です。もう少し
市役所の介入も必要だと思います。

ID413 ファミサポには無理が言えず、
仕事との両立は難しい。地域にはビジネス
として子を見てくれるシッター会社がない

ID416 ファミサポは、親の都合で使
えるというイメージがあるが、病児は対象
としていない点などは困ってしまう時
もある。前提としては健常児のみという
のは意外と使いづらい。あと、どうし
ても、依頼する人数ばかりふえてしま
い、サービスを提供する人数がなかな
か増えない点、これからの課題の
ひとつかもしれない。

ID417 ファミサポは個人同士だけに
相性や子どもがなつくかどうかなどの
問題もあり、なかなか難しい面がある。

ID418 ファミリーサポートがあつた
から、職場復帰できました。子ども(兄
妹)二人ですが、ペースにあわせ遊ば
せてもらい、突然の依頼も引き受けて
もらえました。それが最大の利点だ
ったと思います。ただ中には提供
会員にも小さな子どもがいたり、

その方同士の親子、友達と一緒に
出かけ、映画を見たり昼食をとったり
し、お金を請求されたりし、余計な
出費をすることもありました。必要
以外のプライベートな質問は控
えてもらいたかったです。

ID419 ファミリーサポートが存在
しなかったら、私はここまでの育
児をやれなかったと思います。一
人で双子の男の子を育てるのは
大変で、特に病気になって心細
い時、いつも助けていただいで
います。心から感謝していますし
、多くの方にファミリーサポ
ートの存在を知ってほしいです。

ID433 ファミリーサポートセン
ターの活動には感謝しているが、
やはり人間同士なので相性があり
、何人かの方にお世話になって
いるが一番自分が頼りにしてい
る方がやめてからは、お預けす
る機会が減った。(子どもの成長
もあるが)お迎えを事前
に頼んだ方が、当日いきなり連
絡なしでお迎えに行かなか
ったことが2~3回あり、初
対面の方へは依頼しなくな
った。

ID435 ファミリーサポートセン
ターはとてもよい施設だと思
う、なんでも1人で出来る、
と思わず、どんどん頼って、
いろんな大人に子どもも親も
育てられて、次の子どもに
同じように接して行くと良い
と思う。ファミサポのおかげ
で、育児が出来ていれ
感じます。感謝感謝です。
ありがとうございます

ID437 ファミリーサポートとい
う事業があり助かっています。
ただ、別の子どもの障害があ
り、別々のところに預けられ
ばならないので、用事がある
ときに、送り迎えが大変です。
同じところに預けられるシ
ステムがあれば良いのですが
・・・。

ID440 ファミリーサポートの
主旨を理解

した活動が広く、広がればいいなあと思います。

ID444 ファミリーサポートを利用せざるを得ないのは多くは母親の仕事の都合（もしくはシングル・ペアレント）ではないかと考えるが、職種も働く時間も多様である現代の日本で、保育園や学童保育は9：00～17：00の勤務者対応のままであり、また、転勤という制度がなくなる限り、身内という協力者を得られない親たちは本当に多く、子育てについて制約を強く感じてきた。ファミリーサポートが導入されて利用するようになってからは、制約の中の大きな一つがはずれて、本当に助かっている。同じくらいの年の子どもを持つ提供会員さんたちにお世話になり、提供会員さんは頼りになる姉妹のようであり、子ども同士もいとこのように関わっており、のびのびと過ごせる様子は心からありがたい。しかしながら、大勢が通う保育園とは違い、預けるのは自分の子一人なので、提供会員さんへの関わり方に神経を使っているのも事実ではある。

ID445 夫婦とも、夕方～夜の仕事の為、保育園の延長時間以降も2時間ほど預かっていただく日があり、週末は保育園が休みの為、6～7時間預かっていただくことがほとんどで、月5～6万円のサポート代がかかりました。もう少し料金が安いといいと、つくづく思います。保育園も未満児だと保育料も高いので…。(3歳になったら少し、サポート時間が短くなりましたが)

ID451 平日、また、平日の夕方5時までしかあいていないため、連絡を取り合うのに不便さを感じる場合があります。(仕事をしているため) 朝早く夜遅い時間のサポー

トを依頼しているため近所の提供会員の方が今お願いしている人しか(2人)いなくその方にお断りされたらどうしようという不安があります。もっとたくさんいるとよい。

ID452 平日学童への送迎をお願いしています。学校から歩いていける距離にないため車で送っていただいています。毎日のことで提供会員さんを確保するのが大変な様子です(あまり人が変わらないようにしてもらっているため)でも、何とか見つけていただいています。日にちの確保、お金の支払いなど毎日頑張ってやっていますが、何人もの家に持って行く時間も都合を合わせることも大変な時がありますが本当に助かります。一カ月分やり取りしてますが、時々援助を忘れられて困ることがありました(多いと年に2,3回)(忘れることは誰にでもあります)こちらは責任をもってお願いしているし、援助をしてもらえないと困るから頼んでいるのできちんと守ってほしいと感じることは今まで何度もありました。子どもが母が帰るまでの時間があるのでゆっくり遠回りして帰ろうとしていたり、学校の先生に探していただいたりしてもう少しで警察にということもありました。ボランティアなので強くも言えず、子どもにも強く言えず悩んだことがあります。

ID460 母子家庭で2人の子どもがいるため、保育園が休みの日は利用していますが、1日の仕事の働き分より高いお金を払って預けるのはつらいです。半分でも助成して頂けると助かるのですが、祝日が多い月はかなり大変です。

ID463 母子家庭になり、利用が多くなり、国から補助金をもらえるともっと気軽に利

用できて嬉しいと思います。

ID465 ボランティア活動といいながら1時間700円はどうかと思う。無認可の保育園でも1時間700円+食費なので変わらないと思う。講習を規定の時間受けて活動しているにも関わらず、お迎えの時間に遅れたり、忘れたりする人、また知り合いの子だからと許可を取らず一緒に預かろうとする人がいて、最終的な交渉を個人同士にまかされるのも良いものかどうかとも考えさせられました。

ID473 毎回同じ提供会員が見てくれるので、慣れてくるとこちらもとても安心できた。ただ個人宅と言うこともあり、周りの目がないので心配したこともある。本人はまだしゃべることができないので、何があったかを話してくれない。でも子ども本人が提供会員の家に行きたいと言ったり、会員の家族の名前を覚えてきたり、教えてもらったらしい遊びなどを覚えてくるので、かわいがってもらっているのが最近はよくわかってきて、とても感謝している。今後利用したい。

ID476 まだ1度も利用していないのでなんとも言えないが、よいことだと思う。しかし、利用した友人などは、突然の時（たとえば体調不良などは何日も前から予想がつかない）、あずかしてもらえないのに、何の意味があるのか、そうゆう時ほど、助けてほしいと言っていた。

ID477 まだ3回ほどしか利用していないので、何とも言えません。幼稚園のお迎えをお願いしたいのですが、少しの時間で、申し訳ない気がしました。何で、迎えができないのか、言わないといけないような雰囲気があり困りました。

ID482 まだ利用回数が少ないので自分はないのですが、友人は他の市で提供会員に「ずっと泣いて大変だったわ」と言われたらしいので、お願いする方との相性も重要だったと思います。年の近い人のほうがまだ子育ての考え方が近い様な気もして頼みやすいのかもしれませんが。打ち合わせ時間は計算外だと少し面倒だと感じます。

ID496 もう少し金額が安ければいいと思う。1時間？円と違って、1日？円という金額設定など利用者の生活の事も考えて欲しい。

ID498 もっと気軽に利用できるといい。半日料金、1日料金が割安になるといい。

ID499 もっと啓発してほしい。提供会員になってくれそうな人はファミサポ事業をまったく知らなかったりする。切実に困っている利用者ばかりが増えているのではないかと。提供会員宅と自宅とは車で15~20分程度離れている。この距離が大変なときもある（田舎なので仕方がないのかもしれないが）

ID500 もっと身近な存在になれば、みんな助かると思う。

ID504 良い事業だと思う。最終的に困ったら頼りになる。急な病気などの対応があればもっと良いのですが。

ID506 幼稚園の降園時間が日や曜日によって（月毎）違う為、仕事で間に合わない時に利用しているが、急遽必要になった場合、ファミリーサポートの窓口が閉まっている時（土日や17:00以降）だと困る、利用できない。利用できる年齢が小学3年までのため、4年の子の習い事の送迎を頼みたくても出来ない。

ID507 理由を問われることなく、子ども

の預け先を手配していただけるので、急用の時など助かります。事前に顔合わせをした提供会員さんに子どもをみていただける点も安心です。ただ病児保育の対応があまり充実しておられないので、なじんだ提供会員さんに預かってもらえない時もあり、残念です。

ID509 利用会員として2回程子どもを預かって頂きました。提供会員の方とは以前からの知り合いで、子どもも同じ年齢ということで、日頃からお付き合いのある方にお願ひしています。ですから、急な用事でお願ひするときもお願ひしやすいです。きちんとお金を出す事でお互い割り切って預ける、預かる事をできる。知り合いでも気持ちよくできます。正直、こういう方がいなければ利用するまではいかなかったかもしれません。1~2回会っただけでは預かり利用先に不安があります。利用までの間に何かしら親、子どもをまじえての交流の場を増やしていただけるともっと利用に結びつくのではと思います。

ID511 利用回数は少ないが、「何かあったときに子どもを預かってもらえる」という安心感が、私にとっては大きな意義がある。受けてもらえる依頼に地域差がある。わたしの市のファミサポは預けるのにいろいろ制限があり、「本当に子育てを支援する気があるのか？」と思った。登録料もかかり、結局会員にはならなかった。

ID513 料金が安い。登録している提供会員が少なすぎて全く利用できない。意味がない事業。

ID514 料金がもっと安ければなお良い。子ども二人、長時間預けると出費が多くなるので。

ID515 料金は高いと感じましたが、預かりの様子を聞いて、親以上の事をしてもらったと分かり高くないと思いつつ、国が補助金を出してくれれば、安くすむのにと残念に思う。(提供会員には変わらず料金がもらえるから) 親以外の人との接する機会が子どもを成長させると感じた。とても良い事業だと思います。自分も子育てが終わったら、提供会員になりたい。

ID516 利用しようと思う時はいつも子どもの病気の時、他の兄弟をどうしようとか、急に頼むことが多いのですが、提供会員様の方がもう予定をたてておられる方が多くて、しかたのないことだと思います。でも結局利用ができなくて困るのは自分なので、第2の手段というか何か別の形でお願ひして受け入れてもらえるような所がないのかなと思っています。

ID520 両親ともにフタイム勤務で、この事業には大変助けられています。ただ小3までといわず、小学校在学中はお願ひしたいと思っています。どちらかの親が帰宅する20:00、21:00まで小4になったからといって一人で大丈夫にはなりません。事業の柔軟な運営の再考を願ひます。保育所までは充実した保育行政に助けられますが、小学校に入学した途端、非常に困ります。子どもの足で45分かかかる自宅(小学校から)で残業で遅くなった時、一人でおいておくことは出来ません。学童保育の内容も非常に貧困です。(設備・内容・指導員の質)

ID523 利用するに当たって30分~とあり、送迎だけお願ひしたかったのですが、2~3分しかかからず、その辺でちょっとだけ利用したい方もいるのでは?と思った。結局私の場合は知り合いがいたので、うま

く調整してもらい助かりました。

ID529 利用料金の会員負担額を、今の半額程度にしてほしい！

ID531 利用料は安いと思うのですが、何時間ともなると負担が大変なので、大変でも子どもを連れて出かけるようにしている。ある程度の利用料を市が負担してくれるともっと利用する人が増えるのでは？

ID534 我が家では協力会員さんのサポートのお陰で大変助かっています。ただ、地域性なのか、ファミサポやベビーシッターの利用には理解されにくい面があり、祖母のヘルプが一般的です

ID535 我が家は預けられる身内が身近に居ない上、私（母親）が持病があるので、貴事業の存在は大変助かっています。但し、二人預けると、金額もかかるので、その点、公的補助がもっとあると、正直、もっと気軽に（体力的に無理を避けて）利用できると思います。現実にはなかなか難しいでしょうが・・・。私以上に本当に必要とされる方で、経済的に厳しい方も沢山かれます。

ID536 我が家は転勤族で実家が両家遠いため、このファミリーサポートはとても助かった。ただ、もっと早く知っていれば自分の体調を崩さずに済んだのではと残念に思う。選挙の時にこの人に入れてほしいという頼み事の時はとてもとまどった。

ID545 私が住んでいる市では、サポートセンター事務所と併設して、子育て広場という形で、保母さんもおり、誰もが行ける場所があります。他市から移り住んで来た私には、知人等もいなかったので利用させていただきましたが、結局の所、グループ同士の寄り合い所になっていました。雨、

風もしのげるので、グループで来ては、母親は子ども野放しで、雑談会。私みたいに一人で行った方は、皆さん同じことを言い、利用しなくなりました。なかなかむずかしいものですネ！もちろん私も数回でやめました。

ID547 私自身はサポートをしていてあまり不満がなかったが、他のサポートの方々から話を聞くと、今後不安に思ってしまった（タクシー代わりに使われることもあるとか）。利用する側のマナーなどのルールがあったらいいな～と思った。

ID549 私達家族には、近くにはおじいちゃん、おばあちゃんなど子どもをみってくれる者がいません。子どもが急病時、大変困っています。病気の時は、誰にも預けることができません。なんとかして欲しい。現在の保育園や学童保育は、祖父母等、援助者がいることを前提にしているとしか思えません。ファミリーサポートセンターはとても助かっています。それより保育所・学童保育をもっと充実させてください。働いている者にあわせて開所してください。

ID555 私の住んでる町になく、他市のを利用しているので、作ってもらいたいと思う。

ID557 私の場合、近所で適切な方を紹介していただいて、とても運が良かったなあと思うのですが（保育士の資格あり）、初めの方に子どもをお願いするのはやはり抵抗がある方も多いようです。もし当日になって都合で提供会員さんからキャンセルされた場合等、その後のフォローを含めてもう少し解放されたサービスをファミリーサポートセンターには提供して頂きたいと思っています。

ID564 私は長男が2歳1ヶ月で双子を出産しました。妊娠8ヶ月で管理入院しなければならず、長男を保育園に入れました。最初は父が送迎していたのですが、病気で入院、母も体が弱かったため、サポートの方に迎えをお願いしました。出産後も、3人の子どもを一人で外に連れ出すのは難しいため、長男を週2～3日、一時保育に行かせ、サポートの方に迎えをお願いします。我が家がサポートの方がいなかったら、とてもこの状況を乗り切ることは出来ませんでした。言葉では言い表すことが出来ない感謝の気持ちがいっぱいです。また、子育ての良き先輩であり、言葉を交わすことで、どれだけ救われたかわかりません。存在を知らない方々にもっとアピールすべきだと思います。

ID567 私は両親の援助を受けられない。主人の帰宅も遅いので、隣のおばさんのような存在のファミサポに大変感謝をしています。時には、私の悩み相談もしていただき、現代の核家族には大変よいシステムだと感じております。また、センターの担当の方も、とてもいい方で感謝感謝です。求めている人は多いはず。もっと補助ができるといいのに。アピール方法でしょうか？

ID569 子どもが3歳未満で働いていた頃は利用していたが、援助会員の家に行くたびに宗教のお札が増えていくのがとても気になった。

ID578 子ども二人を一度8時間見てもらったら、1時間900円で7200円も支払った。仕事の会議に出席した為だが、あまりの高額出費なので長時間利用は控えたいと思った。

ID580 子どもを預けている間提供会員さん一人一人の考え方が違うのでその時間をどうすごすのかももう少し統一されているところがあってもいいかなと思いました。ある人は教育的なところまで教えてもらえるが、ある人はただ見ているだけなどほぼすべての責任は本人同士というところが多いように感じるので少々不安に感じることもある。

ID113 県内の中でも市によって1時間の値段がちがいます。全国で統一してほしい。1回に子ども3人預けると金額的に大変。

2-3.その他

ID586 まだ2回しか利用していないため、助かりましたが「よかった」という実感には至っていません。

ID587 両方会員ですが、思いはあるものの利用とまではいたってません。提供もまだです。

ID589 他のセンターのことはわかりませんが、協力を求める利用会員だからと言って精神面まで提供会員に依存しているとは限らず、育児において正しい認識と愛情を持った利用会員と、良き理解者であり協力者である提供会員とが互いの信頼に基づいて、子どもを育てているというのが現状のように思います。

3. 分析および考察

詳細な分析および考察は次年度の研究課題とするが、自由記述には、「子どもの急病への対応」や「障害児への対応」「提供会員の専門性の問題」、「費用の問題」「提供会員不足

の問題」「ファミリー・サポート・センター事業の広報の課題」が多く挙げられていた。特に地方では、「提供会員の不足の問題」が多く挙げられていた。次年度は、都市部と地方部での課

題の違いや、支えられた経験を持つ方と持たない方との親の成長・発達の相関など、整理していきたい。

厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業)

総括研究報告書

「地域の子育て支援としての一時保育業の学習機能に関する研究 ーファミリー・サポート・センター事業に着目してー」

終章 本研究のまとめ

本研究は、ファミリー・サポート・センター事業初設置 10 年を経過したいま、本事業が、親の育児放棄を促しているのではなく、「親を育てる」意味での「子育て支援」として役割を果たしているのか、また果たしているとすれば、どのような要素が、子育て支援としての機能を成立させるのかについて検証したい。つまり、「託児以外の『学習機能』がファミサポにある」という仮説を立て、検証し、今後の子育て支援政策の展望を明らかにする3年計画の研究である。

厚生労働省が福祉行政として行っているファミサポ事業を、教育学の視点から捉えなおし、「現代の親は、子育て支援を消費サービスとしか捉えられない」という壁を乗り越え、地域に根づいた日本独自の親の主体形成の可能性を展望しようというものである。

そこで、全国ファミリー・サポート・センター事業利用者、提供者に対してアンケート調査を実施した。調査対象は利用者 2450 人、提供者 2450 人を調査対象とした。有効回収票は、利用会員 962 票、回収率 39.26%と、提供会員 1,199 票、回収率 48.94%であった。

本年度は、回収した調査票の中で、利用者の調査票を中心に分析を行った。

まず、ファミリー・サポート・センター事業の利用者の全体像について明らかにした。属性に関する調査項目を設定し、選択肢による回答と、自由記述による回答

を設定した。回答者の属性について、以下のことが明らかになった。

①利用者の約8割は、30 才以上～45 才未満である。②13 才未満の子どもを持つ利用者が約9割である。③利用者は、就業している親が多いが、就業していない親の利用も約3割ある。④就業している利用者は、非正規雇用・パート・アルバイトが、約3割。また、就労時間は、9時間以上が約3割。不安定で、長時間労働が約3割程度あるということである。⑤利用会員のうち、約4割強が、今後提供会員になりたいと回答している。その理由として 190 人が、「助けてもらった、支えられた経験から恩返しをしたい」と回答している。さらに、103 人が「助け合いたい、人の役に立ちたい、地域に貢献したい」と回答している。⑥一方、利用会員のうち、約5割が、今後提供会員にならない、と回答している。理由としては 288 人が、「時間がない、子育てで手一杯、まだ考えられない、仕事がある」と回答している。⑦援助内容では、その他の項目で、ファミリー・サポート・センター事業が、休日保育や待機児童対策、病児・病後児保育などの保育所の代替的役割を果たしていることがわかる。

次に、ファミリー・サポート・センター事業を利用している親は、ファミリー・サポート・センター事業を利用する中で、どのような心境の変化があるのか明らかにした。そのために親の発達に関する調査項目、

および選択肢を、先行研究である柏木恵子、若松素子調査を援用し、設定した。

結論としては、親の成長・発達に関する項目の中で、特に「生き甲斐・存在感」の項目が突出して高い値がでている。第1章においても述べたように、利用者は「自分が大変なときに助けて頂いた。」「誰かに恩返しをしたい」という気持ちになっている。利用者の親としての大変さを支え、自己の存在感まで支えているファミリー・サポート・センター事業の役割があきらかになったといえよう。

また、ファミリー・サポート・センター事業において、親は、どのような経験をしているのか、保育の提供者と利用者は、単なる子どもを預ける、預かるだけのかかわりなのか明らかにした。そのために、ファミリー・サポート・センター事業を利用している親の経験について検討した。

その結果、「我が子にいろいろな人が関わって育ててくれていると実感した。」や、「提供会員から、身内や親戚の様に気にかけてもらった。」「提供会員のおかげで、家族以外の人と関わる機会ができた。」など、利用者である親は、地域の住民との関わりを求めており、そのことが、親の成長・発達とどのように関係しているのか、今後相関関係の検討が必要である。

最後に、ファミリー・サポート・センター事業では、どのような支援がおこなわれているのか、また、その中で、親はどのような経験をしているのかを検証するために、質問項目Ⅱに自由記述を設定した。回答は、587件あり、回答率61.01%であった。

結果は、ファミリー・サポート・センター事業において支えられた経験があるという主旨の回答が70.87%(416件)、支えられないにはさらなる工夫が必要という回答が28.62%(168件)、その他0.34%(2件)で

あった。

巻末資料

地域の子育て支援事業における親に対する働きかけに関する

全国調査のアンケート調査用紙

ここには記入しないで下さい。

地域の子育て支援事業における
親に対する働きかけに関する全国調査（預ける方用）
ーファミリー・サポート・センター事業を対象としてー

（平成19年度 厚生労働科学研究費補助金 政策科学推進研究事業）

主任研究者：
佐賀女子短期大学 東内瑠里子

記入上のお願い

1. この調査は、厚生労働省の科学研究費によるものです。
この調査で得た情報は、研究目的以外の用途にて使用することは一切ありません。
また、この調査によって、個人を特定することはありません。
2. 回答して頂く方のお名前を記入される必要はありません。
3. 全ての項目にご回答下さい。
4. 記入がお済みになりましたら、同封の返信用封筒に入れ、封をしてポストに入れてください。
この調査票が届いてから、おおよそ7日くらいでご返送下さい。
5. この調査についてのお問い合わせは、下記にお願いします。できるだけメールをご利用下さい。

佐賀女子短期大学 こども学科 乳幼児保育専攻 東内瑠里子（とうない・るりこ）
〒840-8550 佐賀市本庄町大字本庄1313番地
電話・FAX (0952) 23-5145(土・日、祭日休校)
E-mail ruriko@asahigakuen.ac.jp
緊急連絡先: (090) 6423-4380(ソフトバンク)
ruri0411@q.vodafone.ne.jp(年中無休)

■用語の説明■

提供会員とは、子どもを保育する方であり、「預かる方」のことです。
利用会員とは、子どもを「預ける方」のことです。

ご協力のほど、よろしく申し上げます。

<自由記述>ファミリー・サポート・センター事業について、感想などご自由にお書き下さい。

Ⅲ. あなたのことについて、当てはまる項目に○を付け、記入すべき項目にはご記入ください。

- 1 お子様にとってのあなたの属性をお答え下さい。…………… (①母 ・②父 ・③祖母 ・④祖父 ・⑤その他)
- 2 あなたの年齢についてお答え下さい。…………… ()才
- 3 お子様の人数をお答え下さい。…………… ()人
- 4 お子様の年齢をお答え下さい。…第1子()才、第2子()才、第3子()才、第4子()才
その他()
- 5 家族の人数についてお答え下さい。……………()人
- 6 あなたの就業の有無についてお答え下さい。……(①有 ・②無)<「無」の方は、問11にお進み下さい。>
- 7 あなたの職種について教えてください。(① 会社員・公務員、②自営業、③学生、④その他<)>
- 8 あなたの就労形態についてお答え下さい。
(①正社員<正規雇用>、 ②契約社員・臨時職員<非正規雇用>、 ③パート・アルバイト、
④自営業、⑤在宅ワーク、⑥その他())
- 9 一週間に何日就業していますか。……(一週間に)日)
- 10 一日の仕事時間をお答え下さい。
(①4時間以下、②5～8時間以内、 ③9時間以上～11時間以内、④12時間以上()時間)
- 11 ファミリー・サポート・センター事業の利用歴をお答え下さい。
(①～半年未満、②半年以上～1年未満、③1年以上～2年未満、④2年以上～3年未満、⑤3年以上～4年未満、
⑥4年以上～5年未満、⑦5年以上～6年未満、⑧6年以上～7年未満、⑨7年以上～)
- 12 ファミリー・サポート・センター事業のおおよその月間利用頻度をお答え下さい。……おおよそ月()回
- 13 あなたは、両方会員(利用会員と提供会員)ですか。……………(①はい ・ ②いいえ)
- 14 「13」で「②いいえ」の方は、今後、提供会員になりたいと思いますか。……………(①はい ・ ②いいえ)
- 15 「14」で、「①はい」あるいは「②いいえ」と答えた理由を自由記述でお答え下さい。

- 16 同居、あるいは日常通える距離に親戚や祖父母は住んでいますか。……………(①はい ・②いいえ)
- 17 現在の街に住んで、何年経ちましたか。……………おおよそ()年
- 18 ファミリー・サポート・センター事業において、あなたが利用している援助内容に「○」をおつけ下さい。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | ① 自宅から保育所等への送迎。 |
| <input type="checkbox"/> | ② 保育所・幼稚園の開始前や終了後の子どもを預ける。 |
| <input type="checkbox"/> | ③ 学校の放課後や学童保育終了後、子どもを預ける。 |
| <input type="checkbox"/> | ④ 学校の夏休みなどに子どもを預ける。 |
| <input type="checkbox"/> | ⑤ 保護者等の病気や急用等の場合に子どもを預ける。 |
| <input type="checkbox"/> | ⑥ 冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際、子どもを預ける。 |
| <input type="checkbox"/> | ⑦ 買い物等外出の際、子どもを預ける。 |
| <input type="checkbox"/> | ⑧ その他() |

以上で、アンケート終了です。ご協力ありがとうございました。



ここには記入しないで下さい。

地域の子育て支援事業における
親に対する働きかけに関する全国調査(保育する方・預かる方用)
ーファミリー・サポート・センター事業を対象としてー

(平成19年度 厚生労働科学研究費補助金 政策科学推進研究事業)

主任研究者：
佐賀女子短期大学 東内瑠里子

記入上のお願い

1. この調査は、厚生労働省の科学研究費によるものです。
この調査で得た情報は、研究目的以外の用途にて使用することは一切ありません。
また、この調査によって、個人を特定することはありません。
2. 回答して頂く方のお名前を記入される必要はありません。
3. 記入がお済みになりましたら、同封の返信用封筒に入れ、封をしてポストに入れてください。
この調査票が届いてから、おおよそ7日くらいでご返送下さい。
4. この調査についてのお問い合わせは、下記にお願いします。できるだけメールをご利用下さい。

佐賀女子短期大学 こども学科 乳幼児保育専攻 東内瑠里子 (とうない・るりこ)
〒840-8550 佐賀市本庄町大字本庄1313番地
電話・FAX (0952) 23-5145 (土・日、祭日休校)
E-mail ruriko@asahigakuen.ac.jp
緊急連絡先：(090) 6423-4380 (ソフトバンク)
ruri0411@q.vodafone.ne.jp (年中無休)

■用語の説明■

提供会員とは、子どもを保育する方であり、「預かる方」のことです。
利用会員とは、子どもを「預ける方」のことです。

ご協力のほど、よろしく申し上げます。

I次の項目について、ご自身の体験をご記入下さい。なければ、無回答で構いません。

1. 提供会員をしていて、親や子どもとの関係等において、気をつけていることをお書き下さい。

①親との関係

例) ただ子どもを預かるだけではなく、お母さんが、元気がないときには、声をかけるようにしている。

②子どもとの関係

例) 預かることによって、子どもの生活習慣が乱れないように、心がけている。

③その他の関係

例) 家族ぐるみのつきあいができるように、自分の家族にも協力を求めている。
また、依頼者の家族とも知り合う機会をつくっている。

2. 子どもを預かるようになって、親の変化(①良い面、②悪い面)に気づいたことがありましたか。

親の変化について、実際の事例をお書き下さい。※未記入の方は、「4」へお進み下さい。

①良い面の親の変化

例) 人間関係が広がり、子育ての方法について、より理解を深めるようになった。